

インドネシア チカラン物流センター2 期倉庫建設

山九株式会社（本社：中央区勝どき、代表取締役社長：中村公一）の、インドネシアにおける現地法人、山九インドネシア国際株式会社（本社：ジャカルタ、社長：帆苺達実）は、西ジャワ州ブカシ県に、「山九チカラン物流センター2 期倉庫」を開設いたします。

同物流センターは、今年 2 月に開設した「山九チカラン物流センター」の 2 期倉庫として同じ敷地内に新たに建設いたします。同倉庫については 1 期倉庫建設時より既に計画されていましたが、この度、お客様のご要望を受けて、計画を前倒しして建設することとなり、2016 年 4 月の開設を予定しております。2 期倉庫の倉庫面積は 28,629 m²と、1 期倉庫（11,307 m²）の約 3 倍近い規模になる予定で、自動車部品を始め、化学品やその他一般消費財等も扱う予定です。

インドネシア東部工業団地では、物流センターの集約ニーズが非常に強く、今後もその傾向が続いていくと見られています。そういった中、日本と同等の品質を提供できる物流センターは少なく、また、大型倉庫建設に耐えうる用地の確保も極めて困難な状況です。今回のチカラン物流センターは、自社開発した倉庫管理・ハンディシステムである「Web@Lincs/Plus!」（ウェブリンクスプラス）を標準導入し、モニタリングディスプレイをセンター内に配置する等、高精度な在庫管理・作業進捗管理を行う仕組みを整えました。また、今後のお客様の大型倉庫ニーズにもお応えできる施設品質・拡張性を兼ね備えた、インドネシア東部地区における最高品質の物流センターとして位置づけて参ります。

これからも山九グループはお客様のニーズに対応できる高品質なグローバルネットワークを提供して参ります。

記

名 称：山九チカラン物流センター2 期倉庫
住 所：西ジャワ州ブカシ県デルタマスシ
ティー内 KITIC（キティック）工業団地
開 設 日：2016 年 4 月予定
（着工：2015 年 2 月予定）



完成イメージ図

倉庫仕様：敷地面積：63,751 m²、
合計倉庫面積：39,936 m²
（2 期倉庫）一般倉庫：28,629 m² ※2 階建構造
（1 期倉庫）一般倉庫：9,322 m²、危険品専用倉庫：1,985 m²
取扱品目：自動車部品、化学品、一般消費財等